

熊本災害基金<2020 熊本水害支援>

第三次

【募集要項】

この助成事業は、災害復旧支援のために設置された「熊本災害基金」への寄付を原資に実施されています。寄付が原資の助成であることを踏まえ、被災地のニーズをとらえた活動を対象としています。

なお、当財団は第三次公募分の助成活動を通し、「**中長期的視点で復旧復興に向き合うことができる、自立した地域力向上に向けた支援活動、体制構築**」を目指します。

1. 目的

2020年7月に熊本県南部を中心に発生した大雨による災害に対して、被災者の救援・避難所支援などの活動のうち、政府、行政、自衛隊等の支援が届かない、あるいは補完するような市民活動や民間ならではの支援活動を行う県内団体等の支援活動や活動復旧に対する助成を行うことで被災地の復興を目指します。

2. 対象となる事業・助成方針

「2020年7月熊本豪雨災害」に対して実施する支援活動経費。

熊本豪雨災害に対する、以下のいずれかが該当する活動（団体）が対象となります。

- ① SDGsの視点で、取り残されがちな層（社会的弱者等）への支援を行う活動（団体）
- ② メディアでの情報発信が少なく、支援の手が届いていない地域を対象としている活動（団体）
- ③ 地域を熟知し、事業の継続性が期待される地元の方が中心となった活動（団体）

3. 対象となる経費(対象外の経費)

以下の特記事項を踏まえつつ、基本的に活動実施・継続に必要な経費はすべて対象となります。

【特記事項】

- 人件費に関して
 - 活動を推進する中でキーパーソンとなるリーダー、コーディネーター等の役割の方（各団体1、2名と想定）分のみ※1。上限は8,000円/日・人とします。
 - 株式会社等の人件費は対象となりません。事業実施に最低限の必要経費のみ対象。
- 交通費に関しては、県外から活動に来るための交通費は、特別な場合以外は認められません。
- 活動終了後、団体の資産計上につながる費用(備品等)については事前に相談ください。
- 拠点整備を目的とした事業は対象となりません。ただしDIYなどの簡易な工事の資材費は対象となる場合もあります(事前相談ください)。
- 原則、助成決定日以降の経費を対象とします。

※1 リーダー人材の自立により、持続可能な活動となることを期待します。

4. 対象団体、助成金額

【対象団体】 応募条件（下記参照）を満たす任意団体、NPO 法人、社会福祉法人、など

- ※1 法人格の有無は問わないが、規約等があり、団体情報が開示されていること。
- ※2 団体の本拠地は限定しませんが、熊本県内や地元の活動を優先します。
- ※3 第一、第二次公募採択団体も申請可能。12月末日までに報告書提出まで終わっている団体は通常通り申請ください。

【助成金額】 10～50万円程度

- ※1 団体で原則1事業の申請となります。
- ※2 助成比率は特に定めません。本助成金100%の事業でも構いません。
- ※3 他の助成事業との組合せは構いませんが、経費の重複がないようにしてください。

5. 選考方法

審査委員会（外部委託）において、書類および必要に応じてヒアリングによる選考。

《選考の視点》

「2. 対象となる事業・助成方針」に記載されている①～④の事項のいずれかにマッチした上で、別添「一般財団法人くまもとSDGs推進財団 審査基準」に沿うものであること。

6. 助成募集期間

2020年1月4日～2021年1月15日17時まで（必着）

※事業の実施期間は原則として助成決定日～2021年3月31日までとする。

7. 応募方法

当財団 Web サイトから「第三次公募 申請書」をダウンロードいただき、以下問い合わせ先メールアドレスに応募書類をメールください。

8. 応募条件

- ①被災地支援のため、現地にて支援活動を実施予定または実施中の団体
または被災地に事務所や活動拠点があり、被災により停止した活動再開を目指す団体
- ②助成決定後、当財団と「助成事業確認書」※1を締結可能な団体
- ③助成実施後に活動報告の提出と公開への同意をいただける団体
- ④資金の管理として、入金と出金の記帳、及び領収書の保存・管理ができること
- ⑤原則として、事業報告書（前年度分）、決算書/会計報告書（前年度分）を添付してください。ただし、被災によってデータがない場合、設立1年未満の場合等は不要です。

※1 p9 参照

◆事務局及び申請先

一般財団法人くまもと SDGs 推進財団（担当：専務理事 林）

〒862-0942 熊本県熊本市東区江津 1-7-17

TEL：096-362-3776

FAX：096-200-6395

E-mail：kumamoto.sdgs.gr@gmail.com

ホームページ：<https://kumamoto-foundation.org/>

参照資料

※ 申請書提出前のご一読必須

- 一般財団法人くまもと SDGs 推進財団 審査基準
- 助成事業確認書（基本フォーマット）

一般財団法人くまもと SDGs 推進財団

審査基準

1. 本基準の趣旨

- (1) 本審査基準は、一般財団法人くまもと SDGs 推進財団（以下、「本財団」という。）が資金提供等の支援活動を行う際の基礎となる視座と価値観を示したものである。
- (2) 各事業の企画時に、以下の項目より特に重点的に用いる項目の設定等を行うものとする。
- (3) 各事業の企画時に、特に加えるべき視点や基準があった場合には、それと複合的に用いることができる。
- (4) 各項目の趣旨を越えない範囲において、平易な言葉づかいや表現に変更するなどの簡略化をすることができる。
- (5) 事業環境や時代の趨勢に応じて、基準を見直す。

<審査基準>

1. 持続可能性 SDGs の推進性

- (1) SDGs 推進を目指す公益的な事業であるか。

2. 社会性・地域性

- (1) 事業実施地域や対象者層の社会的、文化的な背景や歴史、各種災害の発生など、現在の状況を踏まえた課題設定がなされており、その現状や特性に具体的に対応しようとする事業であるか。

3. 公益性

- (1) 地域の諸課題の解決、及び地域の活性化、多様な価値観に基づく多様な取組みの実現、各種災害からの復興など、地域の公益の増進に資する取組みであるか。

4. 事業の有効性

- (1) 現実的に発生している地域課題に対する対応のみならず、問題の根本的な解決、及び予防・早期介入的な視点を有しているか。
- (2) 対象となる地域や、対象者が具体的であり、またそのニーズに合致した事業であるか。
- (3) 対人的なサービスに関しては、事業領域や対象層の特性を十分考慮し、基本的な人権や、子どもの権利条約の尊重、人間の尊厳の回復や生活の質の向上、自信・自尊心の回復や醸成、各種能力の開発、心身共にかかる負担の緩和や機能の回復などの視点をふまえ、これらを十分考慮したものであるか。

- (4) 活動の実施にあたって、当事者のみならず、関係者・団体や行政機関や地元関係組織等、関係する周囲のコミュニティーを必要に応じて巻き込み、また具体的な連携関係を構築している、あるいは構築しようとしているか。
- (5) 事業が地域の種々の課題や問題に対して、具体的な変化を及ぼす可能性が予測できる特性や取組みであり、また活動の成果が実証できる要素が含まれているかどうか。

5. 発展性

- (1) 事業実施に際して、当該事業、実施組織、当該地域等の中期的な時間軸において、望ましい状況、到達したい状況に関する定義や予見、予測をもっているか。また、その状況に到達しようとする際に生じるであろうリスクについても、予見、予測されているか。
- (2) 事業を実施することで、その事業並びに従事するスタッフ、当該組織がさらに成長・発展していく可能性が予測できる特性や、必要な取組みが計画されているかどうか。
- (3) 事業を、異なった環境にも応用できる要素（哲学、活動方針等）があるかどうか。

6. 事業実現可能性

- (1) 事業の目的や評価軸が明確であり、その目的の達成にむけて、各種資源の投入や関係性等の構築、及び専門家や経験者の活用や人材の育成など、必要と考えられる点が十分に考慮された計画であるか。
- (2) 事業はその目的達成の為に、経済的に効率の良い手段を用いているか。

7. 組織基盤

- (1) 事業を実行するための財務管理力、組織運営力、必要となる人材や知見、専門性を有しているか。また、スタッフや参加者に活動や組織運営上求められる知見や技能の研修等の実施や支援を行っているか。
- (2) 組織の信頼性や透明性を担保するための事業活動と財務についての情報公開、並びに情報発信等の取組みがなされているか。
- (3) ハード面、ソフト面を問わず、事業や組織の「質、規模、事業継続能力」を向上することに資する事業であるか。

8. 緊急性・重要性

- (1) 各種災害の発生後の緊急救援やその対処、並びにその復旧等、緊急度が高く、重要度が高いものであるか。
- (2) 大規模自然災害等緊急を要する事業の場合、これまでの災害発生後の対処の知見

に照らして、妥当性と必要性が認められるものであるか。

9. 本財団が定める特定テーマへの合致

(1) 本財団が事業毎に定める特定テーマ、趣旨や要件に合致するものであるか。

注記：特定寄付金事業事前指定型においては、寄付金募集力の有無を審査に加味するものではない。

熊本災害基金〈2020 熊本水害支援〉 助成事業確認書

一般財団法人くまもと SDGs 推進財団（以下、「甲」という。）と、（申請書の「団体名称」を記載）（以下、「乙」という。）とは、甲が乙に助成して行う（申請書の事業名を記載）（以下、「本事業」という。）について、以下のとおり確認書（以下、「本確認書」という。）を締結する。

1. 助成の対象となる活動内容と助成額について

助成の対象となる活動内容と助成額については、次のとおりとする。

（活動内容）乙が甲に申請した本事業に係る助成金申請書（以下、「申請書」という。）の「事業の概要」、「事業の必要性」、「事業の実施内容」及び「事業の実施体制」欄記載の内容とする。ただし、・・・（ただし、以下は、ヒアリング調整後の内容を反映する。）

（助成額） 金〇〇〇, 〇〇〇円

（内訳は、申請書の「本事業の支出」欄記載のとおり。ただし、・・・
（ただし、以下は、ヒアリング調整後の内容を反映する。））

2. 助成対象期間について

本事業の助成対象期間は、本確認書締結日から 2021 年 3 月 31 日までとする。

3. 助成金について

本事業への助成金について、甲は、本確認書締結後速やかに、1. に記載した金額を、乙が申請書に記載し指定した口座に一括して支払うものとする。

4. 助成金の使途について

(1) 乙は、1. に定められた助成活動のみを対象とし、本助成金を使用しなければならない。

(2) 乙は、以下のいずれかの事由が生じた場合、本助成金の全額を返納しなければならない。

① 乙が、本確認書に定められた以外の目的又は活動に本助成金を使用した場合。

② 乙又はその職員が、反社会的勢力に該当した場合又は利益供与をした場合。

③ 乙が、本確認書に定める各条項のいずれかに違反した場合。

5. 活動計画の変更等について

乙は、本事業実施に関し活動内容を変更する必要がある時には、甲に対し、事前に変更事由に関する説明を電子メール等にて提出し、甲と協議の上、その決定に従う

ものとする。

6. 活動報告及び助成金の管理について

(1) 乙は、甲に対し、助成活動終了から1か月以内、又は、予め甲が指定した期日迄に、甲が指定する様式に基づき、活動報告書を提出しなければならない。

(2) 乙は、(1)に基づき提出された活動報告書における会計報告について、預金出納帳及び領収書（写し）を提出し、必要に応じ、その内容について説明を行うものとする。なお、助成金の残額は甲に返却しなければならない。

(3) 乙は、本助成金を用いた支出に関する証憑書類（領収書、伝票等）のうち、(2)に指定した書類を適切に保存・管理し、他の会計と区別管理を行い、本事業終了後5年間は保管しなければならない。

7. 情報公開について

乙は、甲が行う資金提供者への報告並びに資金調達等を目的とした活動事例紹介及び広報等に活用するため、財団が発行する出版物（パンフレット、ちらし、年次報告書等）、Webサイト及び業務上作成する資料等において、乙の団体概要及び活動内容、並びに本事業の活動内容等について情報を公開することに同意するものとする。

また、乙自身もWEBサイト等において、本事業の活動内容を積極的に公開するものとする。

8. 広報について

乙は、支援活動の妨げにならない範囲で、甲が行う取材や現地訪問等に協力するものとする。

9. 助成事業である旨の表示について

乙は、本助成金により購入した物品及び作成した印刷物並びに本事業に関する乙のWEBサイト等における広報に関して、本助成金による活動（「KSPF 熊本災害基金「2020 熊本水害支援」事業」）であることを明記することとする。

10. 個人情報を含む情報の取り扱いについて

乙は、本事業を実施する上で知り得た個人情報を含む様々な情報については、乙の責任で管理を行い、本事業実施以外の目的には使用してはならない。

11. 物品等の所有権について

本助成金を用いて購入した物品や機材等の所有権は、全て乙に帰属するものとする。ただし、消耗品以外の物品や機材等については、甲配布のシールを添付すること。

12. 損害賠償について

甲は、本助成金に起因するか否かを問わず、本事業の助成対象期間中に乙が実施す

る事業において生じたいかなる損害や事故に対しても責任を負わない。

13. その他

本確認書に定めていない事項や本確認書の内容に疑義が生じた事項については、甲と乙とで協議し、双方誠意をもって解決することとする。

本確認書締結の証として本書2通を作成し、甲、乙双方が記名捺印のうえ、各自一通を保持する。

2021年 月 日

甲

熊本県熊本市東区江津 1-7-17

一般財団法人 くまもと SDGs 推進財団

代表理事 成 尾 雅 貴

印

乙

住所

団体名

代表者名

印